

学 科	視能訓練士学科3年制	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	視能矯正学総論Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生	学 期	後期	教室名	
担 当 教 員	三辻真由美				
実務経験と その関連資格	視能訓練士として視能検査、訓練委従事している				
《授業科目における学習内容》					
斜視や両眼視の異常について知識を深め、説明できるようになる。 斜視の定義や種類を理解し、列挙出来るようになる。					
《成績評価の方法と基準》					
本試験評価80% 平常点20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
視能学第3版 丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子 編集:文光堂 視能矯正学第3版 丸尾敏夫 編集:金原出版					
《授業外における学習方法》					
教科書も利用しながら講義の予習復習をし、知識を深める					
《履修に当たっての留意点》					
両眼視異常や斜視、弱視について学び、それぞれの関連性も含めて深く考えることができるようになってください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	複視の種類について説明できるようになる	視能学 視能矯正学	講義の予習復習	
	各コマにおける授業予定	生理的複視、病的複視			
第2回	授業を通じての到達目標	複視の種類を言え、作図できるようになる	視能学 視能矯正学	講義の予習復習	
	各コマにおける授業予定	生理的複視、パヌムなどの作図			
第3回	授業を通じての到達目標	NRC、ARCについて説明できるようになる	視能学 視能矯正学	講義の予習復習	
	各コマにおける授業予定	両眼視異常、網膜対応			
第4回	授業を通じての到達目標	NRCの作図ができるようになる	視能学 視能矯正学	講義の予習復習	
	各コマにおける授業予定	網膜正常対応作図			
第5回	授業を通じての到達目標	斜視の両眼視について説明できるようになる	視能学 視能矯正学	講義の予習復習	
	各コマにおける授業予定	斜視の両眼視			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	網膜異常対応、異常角について説明できるようになる	視能学 視能矯正学	講義の予習復習
	各コマにおける授業予定	NRC、ARC作図と異常角		
第7回	授業を通じての到達目標	斜視の基礎知識、定義、病因論について説明できるようになる	視能学 視能矯正学	講義の予習復習
	各コマにおける授業予定	斜視の基礎知識、定義、病因論、斜視の分類		
第8回	授業を通じての到達目標	斜視の分類を言えるようになる	視能学 視能矯正学	講義の予習復習
	各コマにおける授業予定	外斜視、内斜視		
第9回	授業を通じての到達目標	角膜反射による検査について説明できるようになる	視能学 視能矯正学	講義の予習復習
	各コマにおける授業予定	ヒルシュベルグ法の定義、手技		
第10回	授業を通じての到達目標	両右岸視異常、斜視についての確認	視能学 視能矯正学	講義の予習復習
	各コマにおける授業予定	第9回までの範囲の確認問題		
第11回	授業を通じての到達目標	小児の視力検査について説明できるようになる	視能学 視能矯正学	講義の予習復習
	各コマにおける授業予定	小児視力検査の種類と注意点		
第12回	授業を通じての到達目標	弱視の定義、原因について説明できるようになる	視能学 視能矯正学	講義の予習復習
	各コマにおける授業予定	弱視の基本的知識		
第13回	授業を通じての到達目標	弱視の病態、各型について説明できるようになる	視能学 視能矯正学	講義の予習復習
	各コマにおける授業予定	弱視の病態、各型		
第14回	授業を通じての到達目標	弱視の各型について説明できるようになる	視能学 視能矯正学	講義の予習復習
	各コマにおける授業予定	弱視の各型などのまとめ		
第15回	授業を通じての到達目標	小児視力検査、弱視についての確認	視能学 視能矯正学	講義の予習復習
	各コマにおける授業予定	小児視力検査、弱視についての確認問題		